

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日				利用児童数		回収数	
放課後等デイサービス仁		令和6年12月23日				16名		10	
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応		
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	9		1		・勉強部屋・キッチン・庭などがあり十分です。 ・遊ぶ部屋・キッチン・外も十分なスペースだと思います。 ・室内で数人で遊ぶには、少し部屋が狭く感じます。	・活動内容に合わせて必要なスペースの確保や部屋に応じたプログラムを行っています。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	6	2		2		・加配職員を配置しています。 ・積極的にボランティアを受け入れ余裕のある支援が行えるようにします。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	7			3	勉強する部屋、遊ぶ部屋、一人で落ち着く場所など、分かりやすくなっていると思います。	・主な利用を知的障がい児としていますが、玄関に段差があります。今後、身体障がい児の利用がある場合は一には対処します。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	6			4	・清潔かどうかまでは分からない。	・感染予防に努め、清潔な空間保持を行います。	
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	9			1			
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	7			3	・将来の自立に向けたプログラムになっています。(お買い物体験等) ・支援内容に合っているかは分かりませんが、色々工夫されたプログラムだと思う。		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	9			1	・定期的に、子どもに対しての支援計画を話す場があったらよいと思う。		
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	9			1			
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	10						
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	8			2	・季節ごとに違った制作などがあり、楽しめているようです。 ・色々なプログラムがあるので子どももプログラムを見て毎月楽しみにしています。 ・おかいものや部屋遊び、公園へ行くなど考えておられると思います。 ・子どもの為に、よく考えてくださっていると思う。		
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	7		1	2			
保	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	9	1			・こまかくきやんと説明していただき分かりやすかったです。 ・丁寧かと言うとそうではない。		
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	9			1			
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5	1	1	3			
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	10				・利用児の様子や家での健康など共有いただいています。		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	5	2		3	・迎えに行った際に、お話する事が出来るのでいつでも相談できます。		

護者への説明等	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	7			3	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	9			1	・まだ、一度参加しただけなので、今後、そのような場を増やして欲しい。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	7	1	1	1	
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	9			1	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	9			1	・自己評価というところは分からないが、HPで分かりやすく行事予定などがのっている。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	9			1	・訓練が行われているかまではわからない。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	6		1	3	・訓練が行われているかまではわからない。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	4	1		5	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	6			4	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	5	2		3	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	10				・アットホームな事業所なので子ども私も安心して通所しています。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	9		1		・利用した時は楽しそうに帰宅するので安心してしています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	10				

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス仁(めぐみ)				公表日	令和6年 12月 23日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		キッチン・学習室・療育スペース ・カームルーム・相談室2部屋・静養室 ・園庭など基準以上設置している。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		適切である。 加配職員の配置と療育ボランティアを受け入れしている。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		○	玄関入り口は、スロープと手すりを設置しているが、玄関は、段差の改修までは至っておりません。	主な利用児を知的障がい児としているが、身体障がいの方の見学や利用する児童などにも対応できるように簡易のスロープの導入を検討してる。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		運営基準通り。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		活動内容に合わせて、子どもの意志に任せている。パニック時には、子ども自らカームルームに行っている。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。		○		職員各自の研修計画はあるが、業務改善の目標設定までには至っていないので、今後、業務改善についても取り組みたい。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		評価表とアンケートにより取り組んでいる。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎日のミーティングで聞いている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		今後、第三者評価を受審したい。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		職員は、年度初めに研修計画を作成し取り組んでいる。		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		・プログラムは、職員間で協議し作成している。 ・事業所のHPIにおいて公表している。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		通常の個別支援計画作成スケジュール通りに行っている。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		個別支援計画作成は、担当者会を開催し、共通理解を図っている。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		運営基準通り。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		○		インフォーマルによるアセスメントまでには至っておりません。関係者などとの関係づくりに努めます。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		運営基準通り。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		支援する職員全員で協議している。(2回/月)		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。		○		室内での活動が多いので、身体活動や社会資源を活用するプログラムを取り入れていく。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		運営基準通り。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		朝礼で確認している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。		○		送迎業務に関わる職員もいるので、終了後ではなく、翌日になる場合がある。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		記録だけでなく、翌日に支援の検証と利用児の反応について話し合っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直し必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		運営基準通り。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		運営基準通り。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		活動中に自己選択できるよう複数(用具、器具、食べ物、ゲームなど)用意している。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		運営基準通り。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		自立支援協議会に参画。福祉の専門学校と連携し、実習先となっている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		運営基準通り。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。		○		今年度、開設と新1年生の利用がなく連携を図っていない。次年度は、新1年生の利用があるので連携を図る。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		事業所周辺の就労支援事業所に勤務する障がい者と利用児家族との交流会を実施したり、就労支援事業所のパンフレットを自由閲覧できるようにしている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		○		実施できるよう検討する。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○		実施できるよう検討する。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。			運営基準通り。	長期休暇のみの利用児に対しては、頻繁な連絡は取れていない。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		障がい者の家族の方と利用児の母親との交流会を行い、情報交換や悩み相談を行っている。	ペアレントトレーニングは行ってない。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		運営基準通り。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		運営基準通り。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		必要に応じて行っている。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。			障がい児支援における子どもの意志の尊重・最善の利益の最優先考慮の手引きの読み合わせは行っている。	きょうだい支援は、行っていない。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		運営基準通り。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。		○		定期的な通信は発行していないが、HPを活用し情報は提供している。今後、発行予定
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		運営基準通り。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		運営基準通り。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		地元子ども会に、事業所の塀のイラストを依頼するなど行ったが実現出来ていない。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。		○		避難訓練等は、実施しておりますが家族への周知までには至っていないので、周知の方法を検討していきます。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		対象利用児については、利用児に発作回数の記録や学校と家庭と連携を図っている。 また、学校、障害福祉課、相談支援事業所、子ども家庭センターとケース検討会を行っている。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		食事の提供は行っていないが、食事支援マニュアルを作成している。利用児については、児童調査票においてアレルギーの有無を確認している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。		○		安全計画を作成し、それに沿って研修及び訓練を実施する。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		○		各種のマニュアルは整備しているが、安全計画までには至っていない。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。		○		検討までには至っていないので、検討をしていく。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			虐待防止チェックリストや内部、外部研修をし実施している。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。		○		子どもや保護者に対しての説明は行っていない。利用児の中で必要が認められたら説明を行っていく。	